

桐生西ロータリークラブ週報



2016-17年度RIテーマ ジョンF. ジャームRI会長

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 前原榮一 幹事 東郷 学 クラブ会報・雑誌担当 新木明夫
 広報活動委員長 山形 剛 委員 鳥嶋隆一、高森 勉(歴史編集・IT-CICO担当)、池末晋介

No. 2065

2017年2月24日発行

第2190例会 (2017・2・17) 報告

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 食 事 |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 8. 卓 話 NPO 法人 群馬ダルク代表者様 |
| 4. 会長報告 | 9. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 10. ロータリーソング 例会終了後IM実行委員会開催 |

◆ビジター

NPO法人群馬ダルク 代表施設長 平山 晶一様
 " 責任者 福島ジョン・パトリック様

◆会長報告

前原会長

1. 本日の卓話は群馬ダルクの代表者にお越し頂きまして、薬物依存症の恐怖についてお話し頂く事になっております。私もお酒やタバコがなかなか止められずに居ります。違法薬物は昨今では低年齢化等で社会問題になっていますので、本日の卓話が我がクラブの活動の糧になればと思っております。
2. 本例会終了後、第2回IM実行委員会を行います。その後、実行幹事である下井田補助金委員長には、午後4時から前橋問屋センター会館で行われるグローバル補助金審査会に出席して頂きます。また21日(土)にも伊勢崎プリオパレスで地区補助金審査会が開催されますのでご出席頂きます。
3. 20日(月)午後6時から渋川市でガバナー補佐の集いが行われ、阿左美ガバナー補佐が出席されます。

◆幹事報告

東郷(学)幹事

- ◇ハイライトよねやま203が配信されました。(各テーブル配布)
- ◇IMの出欠表を回覧致しますのでご記入下さい。また既に連絡された方も懇親会に出席出来ない場合は懇親会欄に×印をお願い致します。
- ◇早朝健康診断の出欠表も回覧いたしますので、ご都合の程ご記入下さい。
- ◇春の家族会バス旅行の参加申込み人数が定員に近づいております。参加希望の方は至急お申込み下さい。
- ◇下記のものが届いております。
 - ・桐生市社会福祉協議会より『福祉ぐんまNo.259』
 - ・(株)コンピューターエンゼルスより事務局システムのご案内
- ◇例会変更のお知らせ
富岡RC 3/22,3/29(休)
- ◇クラブ会報が到着しています
桐生RC 2/6 桐生赤城RC 2/7 桐生中央RC 2/9

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

早川出席担当

総数59名(免除者11名のうち8名出席の為3名を除く)

出席率対象者56名、出席率対象者出席人数37名
 欠席者19名(内前メイク6名) 出席率76.79%
 前々例会修正出席率85.96% (最終欠席者8名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

山同拠金委員

群馬ダルク代表施設長・平山様よろしくお願ひします
 前原君
 群馬ダルクの平山様と福島様のお話しを楽しみにしています
 早川君、園田君、藤本さん
 皆様の事業所の産業医、請け負います
 野田君
 今日は暖かいです。春ですね
 乾君
 春ボケしそうです
 浦野さん
 007みたいな事件がおきました。空港では注意
 野村君
 家事の都合上お休みをさせていただきます。宜しくお願ひ致します
 斎藤君
 孫が前女合格しました
 塚本君
 久しぶりに14・15日に畑に出て万端で深い所の硬い土をほじくりました
 船戸君

◇ロータリー財団

山同拠金委員

群馬ダルクの平山様と福島様のお話しを楽しみにしています
 早川君、園田君、野田君、浦野さん
 家族会旅行、定員まで残り僅かです
 野村君
 リサイクル募金ご協力ありがとうございます
 船戸君

◇米山BOX

井本拠金委員長

群馬ダルクの平山様と福島様のお話しを楽しみにしています
 早川君、園田君、船戸君
 可愛かった女子社員が嫁に行ってしまいました
 野村君
 今日の午後には「春一番」が吹くらしいです
 野田君
 清水さん、いつもご苦労様です
 浦野さん

◆食事メニュー

1175キロカロリー

豆腐と海藻のサラダ、鰯のホイル焼き、白飯、香の物、帆立の揚げびたし、豚肉と根菜のスープ、一口小菓子

《次例会予告》

3月5日(日) 第2分区A IM

集合12:30、会場 桐生プリオパレス

3月3日(金)の例会変更です。



「薬物依存症の恐怖」

NPO法人 群馬ダルク
代表施設長
平山 晶一様

今日は薬物依存症の怖さについて、ある体験談をもとにお話しをさせていただきます。

高校1年生の時から16年間使い続けた人は、軽い気持ちでほんの好奇心で始めました。丁度ディスコが流行っている時代で、当時の標語は「覚醒剤やめますか？それとも人間やめますか？」でした。多分その怖さは知っていたのだと思います。でも、どうしても止められないのは根性が無い人だからくらいに思っていたのだと思います。それが、いつの間にか薬が無ければ生きて行けなくなってしまいます。朝起きる事も、夜寝る事も、食べる事も、人と会う事も、全ての事に薬が必要になってしまいます。

そうなった時に、頭では分かっているけど止められないのです。そこで駆け込むのがダルクという所です。そこでも止められない人がいます。精神病院に入退院を繰り返しても止められない。そしてまたダルクに戻る。そういった中で学んだ事は、薬を止めているダルクの仲間の真似をすれば止められるという事です。仲間の様に正直に生きて、生き方を変える以外にないという事をダルクで学びます。

そこで回復した人が新たに薬物依存症の人達の居場所（回復する為の場所）を作りました。それがダルクです。今全国で50カ所以上になりました。今日本に約200万人の人が依存症で苦しんで居ると言われています。刑務所の中は半分以上が薬物事犯です。再犯率が6～7割と言われています。刑務所の中でも上手いかわないので、我々は月2～3回ほど刑務所を訪問して回復の為のツール等をお話しに行きます。精神病院も凄く多くの薬物依存症の人達が居ます。そこにも同様にお話しに行きます。

薬物依存症になると、止める事も使い続ける事も出来なくなり、孤独になり、楽になるには死しかありません。でも死ぬ事もできません。薬を使い続ける為に小さな犯罪も侵してしまいます。警察にも捕まります。でも止める事が出来ず、最終的にダルクに行きます。

ダルクでは、薬を止めた仲間達から希望をもらい、色々なメッセージをもらって、次第に笑う事が出来るようになります。依存症の怖さは死が伴うという事です。治療すれば完治はしないけれど回復はします。絶望する事は決してありません。

そして、薬物依存症はその家族が本当に困ります。未だ本人が呑気に薬を使っている時に、先ず家族が気づきます。そして家族は苦しみ悲しみ途方にくれます。

この後、福島から皆様にお話しを致しますが、彼の基本言語が米語なので、アメリカのプログラムを理解して、それを日本用にコーディネートしています。群馬ダルクでは、薬物依存症の人用に、その家族用にプログラムを持っています。それを日本中のダルクと家族の方達にも提供しています。それに依って家族が変わっていき、家族が変わると本人も変わっていきます。

私達は、入所されている方が元気になって社会に出て行くお手伝いをさせて頂いております。その中で行なっている事が、ボランティアやスポーツ、仕事にかかわる姿勢などを支援する活動です。

ダルクの置かれている立場はとても苦しいです。福祉の分野にも医療の分野にも入れない隙間にあります。運営して行くのがとても大変です。支援者の方達を見つけて助けて頂きながらどうにかやっています。是非、皆様にも、薬物依存症を理解して頂いて、支援して頂ければ嬉しく思います。

そして、依存症が皆様の身近にあるという事も知って頂きたいと思えます。ギャンブルもしかりです。薬局で売っている咳止めシロップにもヘロインや覚醒剤に近い成分が含まれています。治療で使う向精神薬を大量に服薬する様になってしまったケース等、決して別世界の事ではありません。依存症とその家族を合わせると1,000万人以上の人が苦しんでいる事も、是非、認識して戴きたいと思えます。



NPO法人 群馬ダルク
責任者

福島 ショーン
パトリック様

私は母が日本人で父がアメリカ人のハーフです。それで、アメリカをモデルにして日本のダルクで活動をしています。

日本では、薬物依存症の人達の施設はダルクしかありません。精神病院も3ヶ月しか居られませんので、そんな短い期間で良くなりません。

アメリカでは薬物依存症の人が約2,000万人居ると言われています。日本は約200万人が依存症でその内100万人位が薬物依存症と言われています。更にその内の3割しか回復出来ないと言われています。しかも依存症は他の病気と違って検査の数値で判断できない目に見えないものです。

また、アメリカは薬物依存症のケアがとてもやり易い国ですが、日本にはダルクしかありません。そんな日本で回復率を4割5割とあげて行くのはとても困難です。周りの理解がもっと得られなくてはとても無理だと思えます。

私は、薬物依存症を正当化する気もありませんし、その罪を償う事は当然の事だと思っています。ただ、日本でもっと支援や理解を広めたいと願っています。

私はこの体格ですし根性もあります。ダルクにこの気合と根性を活かして筋トレクラブを作って、毎日頑張っています。

是非、皆様に群馬ダルクに足を運んで頂いて、ダルクの実情を知って頂きたいと思えます。今の現状では、ダルクに対する支援者がなかなか増えていきません。決して資金の面だけではありません。皆様の豊富な人脈を活かしてアドバイス等を頂いて、現状を変えて行くチャンスを与えて頂きたいと思えます。

今日は、この様な機会を与えて頂いて、ありがとうございました。

ダルクとは

ダルク (DARC) とは、ドラッグ (DRUG=薬物) の D、アディクション (ADDICTION =嗜癖、病的依存) の A、リハビリテーション (Rehabilitation=回復) の R、センター (CENTER=施設、建物) の C を組み合わせた造語で、覚醒剤、有機溶剤 (シンナー等)、市販薬、その他の薬物から解放されるためのプログラムを持つ民間の薬物依存症リハビリ施設です。